

グローバル・オイル株式ファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第2期(決算日2018年5月14日)

作成対象期間(2017年5月13日～2018年5月14日)

第2期末(2018年5月14日)

基準価額	11,921円
純資産総額	731百万円
第2期	
騰落率	15.5%
分配金(税込み)合計	100円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・オイル株式ファンド」は、2018年5月14日に第2期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「グローバル・オイル株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

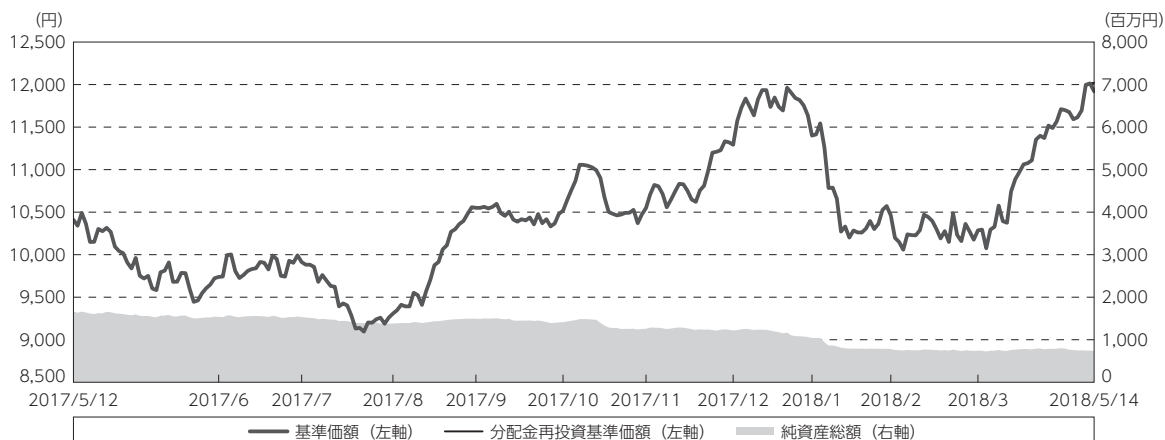
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年5月13日～2018年5月14日)



期首：10,410円

期末：11,921円 (既払分配金(税込み)：100円)

騰落率：15.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2017年5月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「グローバル・オイル株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国を除く世界の大半の産油国によって協調減産が維持されたこと。
- ・コスト削減および設備投資の抑制によって、石油関連企業のキャッシュフロー創出力や株主利回りが向上したこと。
- ・ユーロが対円で上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・環境に配慮した再生可能エネルギーによって需要が侵食されるとの懸念が高まったこと。
- ・投資の抑制が設備投資関連企業に不利に働いたこと。
- ・アメリカドルが対円で下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2017年5月13日～2018年5月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	189	1.803	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(91)	(0.869)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(91)	(0.869)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.065)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.057	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(6)	(0.057)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.013	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.013)	
(d) そ の 他 費 用	29	0.281	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(19)	(0.179)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(10)	(0.095)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	225	2.154	
期中の平均基準価額は、10,469円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

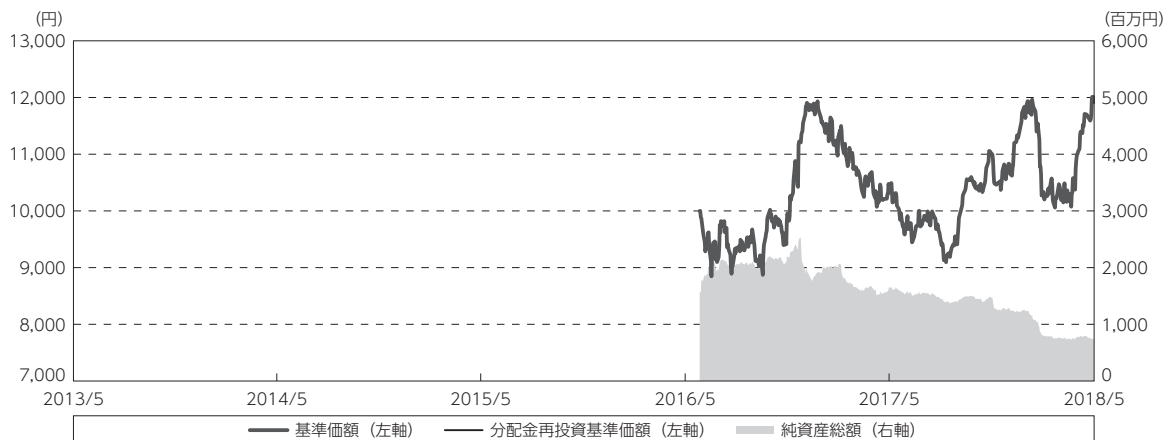
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2013年5月13日～2018年5月14日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 当ファンドの設定日は2016年6月8日です。

	2016年6月8日 設定日	2017年5月12日 決算日	2018年5月14日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,410	11,921
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.1	15.5
純資産総額 (百万円)	1,570	1,664	731

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2017年5月12日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2017年5月13日～2018年5月14日)

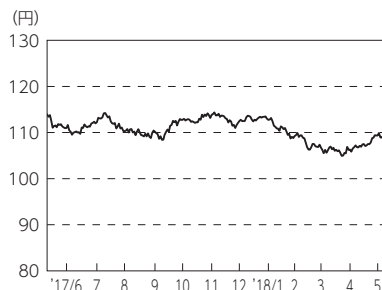
(株式市況)

株式市場は、2018年1月下旬に大幅な調整を迎えるまで、概して堅調に推移しました。米国では、企業収益の成長率見通しの改善や、法人税および所得税(特に前者)の引き下げによる収益の大幅な増大が、株式市場の追い風となりました。しかし、エネルギー関連株については、原油価格が横ばいで推移したことや増産に伴って原油在庫が高水準にあったことから、期間の初めは市場全体に対して出遅れました。2017年秋になると、エネルギー関連株は上昇し、調整局面を迎えるまでは好調なパフォーマンスを示しました。エネルギー関連株の調整は市場全体と比べてより大幅なものとなりましたが、2018年4月の反発局面では市場全体を上回る上昇を示しました。特に重要な点は、世界経済の成長見通しの改善や、少なくとも米国ではインフレが加速し始めた兆候を受けて、米国連邦準備制度理事会(FRB)が、既に発表されていたバランスシートの段階的縮小と量的緩和の巻き戻しの流れを進展させ、緩和的な金融政策に終わりを告げて緩やかな利上げ局面へ移行するとの思惑が市場で広がったことでした。原油の在庫が減少を続けたことや中東の地政学的懸念が高まったことも、エネルギー関連株に対する市場心理の向上に寄与しました。

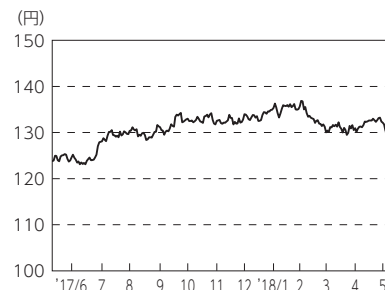
(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2017年5月13日～2018年5月14日)

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル・オイル株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(グローバル・オイル株式マザーファンド)

総合石油・ガスセクターへの投資比率は期間の終わりにかけて若干引き下げました。ついで投資比率が大きかった石油・ガス探査・開発セクターは、期間の後半に投資比率を引き下げ、株価に出遅れ感があり投資魅力が増していた石油・ガス装置・サービスセクターに資金をシフトしました。石油・ガス探査・開発セクター内では、魅力的な投資機会が出てくるとともに保有銘柄で利益確定ができる状況となったことから、銘柄の入替えをしました。また、期間の半ばには、石油・ガス貯蔵・輸送セクターを新規に組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年5月13日～2018年5月14日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2017年5月13日～2018年5月14日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2017年5月13日～ 2018年5月14日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.832%
当期の収益	100
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,920

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・オイル株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(グローバル・オイル株式マザーファンド)

引き続き、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている石油関連企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。なお、外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

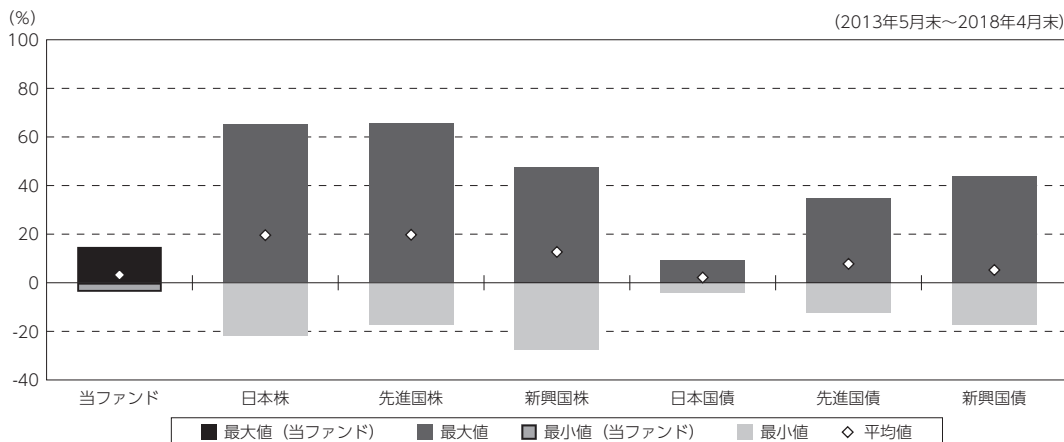
2017年5月13日から2018年5月14日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2016年6月8日から2026年5月12日までです。	
運用方針	主として、「グローバル・オイル株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	グローバル・オイル株式 ファンド	「グローバル・オイル株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・オイル株式 マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている石油関連企業の株式に実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とし、株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	14.8	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 3.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	3.2	19.6	19.7	12.7	2.2	7.8	5.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年5月から2018年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2017年6月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2018年5月14日現在)

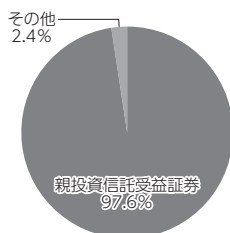
○組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
グローバル・オイル株式マザーファンド	%
組入銘柄数	97.6
	1銘柄

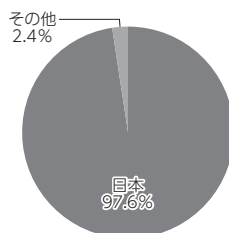
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

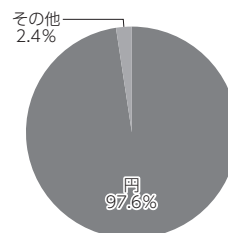
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第2期末
	2018年5月14日
純資産総額	731,704,848円
受益権総口数	613,796,752口
1万口当たり基準価額	11,921円

(注) 期中における追加設定元本額は148,218,055円、同解約元本額は1,133,793,091円です。

組入上位ファンドの概要

グローバル・オイル株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年5月13日～2018年5月14日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	6 (6)	0.058 (0.058)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	1 (1)	0.014 (0.014)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	20 (20) (0)	0.185 (0.183) (0.002)
合計	27	0.257

期中の平均基準価額は、10,772円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

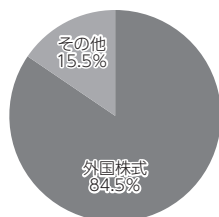
【組入上位10銘柄】

(2018年5月14日現在)

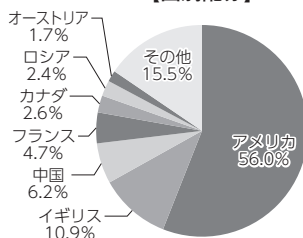
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	エネルギー	ユーロ	イギリス	5.7
2	CHEVRON CORP	エネルギー	アメリカドル	アメリカ	4.9
3	TOTAL SA	エネルギー	ユーロ	フランス	4.7
4	EXXON MOBIL CORP	エネルギー	アメリカドル	アメリカ	4.6
5	OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	エネルギー	アメリカドル	アメリカ	4.5
6	ANADARKO PETROLEUM CORP	エネルギー	アメリカドル	アメリカ	4.3
7	SCHLUMBERGER LTD	エネルギー	アメリカドル	アメリカ	3.9
8	NOBLE ENERGY INC	エネルギー	アメリカドル	アメリカ	3.6
9	CHINA PETROLEUM & CHEMICAL-H	エネルギー	香港ドル	中国	3.6
10	HALLIBURTON CO	エネルギー	アメリカドル	アメリカ	3.2
	組入銘柄数			30銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

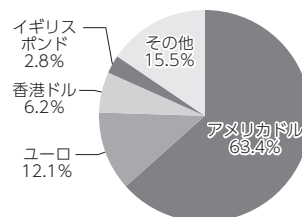
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

グローバル・オイル株式ファンド

【貸借対照表】

(単位:円)

	第1期 平成29年5月12日現在	第2期 平成30年5月14日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	57,536,724	28,725,632
親投資信託受益証券	1,623,834,440	714,022,689
未収入金	—	38,340,078
流動資産合計	1,681,371,164	781,088,399
資産合計	1,681,371,164	781,088,399
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	—	6,137,967
未払解約金	997,191	33,273,032
未払受託者報酬	495,560	316,737
未払委託者報酬	13,216,253	8,447,926
未払利息	64	35
その他未払費用	1,749,410	1,207,854
流動負債合計	16,458,478	49,383,551
負債合計	16,458,478	49,383,551
純資産の部		
元本等		
元本	1,599,371,788	613,796,752
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	65,540,898	117,908,096
(分配準備積立金)	—	87,844,309
元本等合計	1,664,912,686	731,704,848
純資産合計	1,664,912,686	731,704,848
負債純資産合計	1,681,371,164	781,088,399

【損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第1期		第2期	
	自 平成28年6月8日 至 平成29年5月12日		自 平成29年5月13日 至 平成30年5月14日	
営業収益				
受取利息		87		135
有価証券売買等損益		211,678,230		166,371,478
営業収益合計		211,678,317		166,371,613
営業費用				
支払利息		22,116		17,881
受託者報酬		1,169,371		808,790
委託者報酬		31,185,935		21,571,141
その他費用		1,804,373		1,248,091
営業費用合計		34,181,795		23,645,903
営業利益又は営業損失(△)		177,496,522		142,725,710
経常利益又は経常損失(△)		177,496,522		142,725,710
当期純利益又は当期純損失(△)		177,496,522		142,725,710
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額(△)		191,280,737		44,001,601
期首剰余金又は期首欠損金(△)		—		65,540,898
剰余金増加額又は欠損金減少額		98,947,434		4,736,754
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		—		—
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		98,947,434		4,736,754
剰余金減少額又は欠損金増加額		19,622,321		44,955,698
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		19,622,321		44,955,698
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		—		—
分配金		—		6,137,967
期末剰余金又は期末欠損金(△)		65,540,898		117,908,096